

露地・雨よけ

サクランボ特報 No.3

平成 28年4月22日

J A 中野市営農センター

J A 中野市サクランボ部会

佐藤錦の開花は4月14日で、平年より10日ほど早く生育が進んでおります。

定期防除・管理作業は、遅れないよう計画的に実施しましょう。また、乾燥状態が続く場合は、灌水を適宜実施しましょう。

薬剤散布

隣接する園地や他作物にからないようにする。

*散布時期 落花後（4月下旬）

・散布日	4月	日
・散布量		ℓ

*散布薬剤 (水100ℓ 当り)

展着剤	20ml
サムコルフロアブル10	40ml (前日、3回)
ナリアWDG	50g (前日、3回)

*散布量 : 10a当たり 400ℓ 動噴500ℓ

*対象病害虫 : ケムシ類、ハマキムシ類、灰星病、黒斑病、炭そ病、幼果菌核病、褐色せん孔病

*注意事項 : ◎訪花昆虫保護のため、殺虫剤の使用は十分注意する。

- ①弱樹勢が心配される場合は、「ビビッドグリーン」の500倍を加用散布する
- ②訪花昆虫引き上げ後—ショウジョウバエ類（ケムシ類、ハマキムシ類）が発生する場合、バイスロイドEWの4000倍（収穫7日前、2回）を特別散布する。
- ③ナリアWDGは、ぶどう、ピオーネ、西洋ナシ、ル・レクチエ等に薬害が生じる恐れがあるため、他作物同様、飛散しないようにする。
- ④コスカシバの発生園は、4月下旬～5月上旬にスカシバコンを10a当100本設置する。

◎今後の管理 * 遅霜の対策は万全に。

- (1) 園内の除草、特に地際部はきれいに行い害虫の巣にならないようにする。
- (2) 風対策一支柱立て等行っていない場合は、実施して下さい。
- (3) 枝の誘引—側枝形成をはかりバランスの良い樹形に仕立てる。

○除草剤の散布

(放花昆虫保護のため5月中旬頃まで見合わせる、放花昆虫回収後)

- ・使用剤 バスタ液剤・ザクサ液剤（収穫前日、3回）
- ・使用方法 水100～150ℓに500～750mlを使用する。

栽培日誌への完全記帳。必ず、出荷時までに提出をお願いします。